

## コラム風 激励と同情を超える意思表示

この夏、暑さに疲弊トホ、自然災害を憂いながら、フリースクール Largo(ラルゴ NPO 法人鎌倉あそび基地)のエンカレ「学びは自由だ」に参画しました。すごい大人たちが織りなす学びに参加する子どもの姿を前に、いじめ・不登校を問い直し、現状から明日が見えてきたように思いました。

お台場の夜

by 川辺悟史さん

### 3つの世代に整理すると

1980年代から現代に続くいじめ・不登校を、僕は世代論として整理してみました。1980年代と掲げたのは、様々な学校問題がTVドラマ金八先生(1979年)によって社会問題化されたから…、僕も同時代中学校現場にいたのです。

第1世代のいじめ・不登校理解は「いじめは我慢」「いじめ返せ」「学校は休むな」「休む子はダメな子」と叱責非難を通して“激励”(誤解です)する、「あなたの弱い気持ちを切りかえれば学校は楽しくなる」、自己責任と自己改造を諭す世代です。

第2世代は「いじめられて可愛そう」「学校へ行けないって辛いね」と同情と慈悲を寄せ、「あなたも苦勞するけど頑張って」と穏やかに理解を示すが“他人ごと”、学校や大人に責任はないので高みの見物ニ上から目線の世代です。

そして第3世代は「いじめに向き合う人ってすごい」「学校へ行かない選択っていいね」と心より共感を深め考え理解する“自分ごと”“意思を表す”大人が登場する世代です。『いじめ自死』と『学校を拒む』子どもが大人を変えました。

最近識者3人が朝日新聞(2018・8・21 P26 教育)で発言していました。

- 「…不登校になる子どもに共通するのは『自分は弱いからだ』という自己否定感が強いこと。…」(不登校新聞編集長石井志昂さん)
- 「『生まれてこなければよかった』と考える子、親から『生まなければよかった』『失敗作だ』と言われた人もいます。」(BONDプロジェクト代表橘ジュンさん)
- 「だからこそ、学校は**失敗を許す**場所であってほしい」(元校長友道健氏さん)

3人とも優れた識者ですが、発言を切り取ってみると先に指摘した第1世代から第2世代の激励と同情が混在する世代を下敷きにした発言で、他人ごと世代を実感します。いじめ・不登校を保護する法的な整備が進む教育界ですが、学校は未だ激励の自己責任と同情の第1～2世代を強固に生きています。第3世代を生き始めた子どもと親は、ますますの違和感で学校から離れます。

### 子どもの学びを笑顔で求める大人たち

時代は自分ごと、意思を表す第3世代の到来、自己選択の時代を迎えています。学びは学校だけにあるのではなく、学びは地域や社会に、学びは子どもの数だけあります。8



月22日(水)フリースクール Largo では「ホリケンとSDGs<sup>注</sup>を学ぼう」が古屋カ教授(東洋学園大学)の解説とホリケン博士のツッコミで約30の子どもたち(大人も同数)を前に展開されました。教科書と黒板の座学から、対話と会話と映像情報で共感する学び=自分ごと、進化する学びを最先端に行く学者と飛び切りの芸人が地域の子どもたちとリアルにガチンコしたのでした。

同調圧力の強い学校現象ゆえに戸惑い涙する第1~2世代の保護者もいますが、第3世代の保護者が登場しています。激励と同情の涙から開放され笑顔で子どもの学びと成長を応援する保護者、子どもの個性の伸長と学びの進化を願い意思表示する第3世代を生きる大人が、地域に点在し始めました。(滝田)

(注)SDGs Sustainable Development Goals 国連が2015年に全会一致で決定持続可能な開発目標

**それぞれの風** 子どもとともに歩む応援団に参画する3つの活動提言を頂きました。

## 1 子ども×好きを極める フリースクール Largo 水澤麻美♡

### カッコいい大人・地域での出会いと学びの可能性

8/20(月)~22(水)の3日間、湘南モノレール湘南深沢駅にほど近い『ふかふか』にてフリースクール Largo 主催の「エンカレ」を開催しました。「エンカレ」は、en-college ~en=縁、入り口、エンターテイメント、college=大学、エンカレッジ=勇気づける、励ます、発達促進する~という意味です。講座1《書道》『うちわに書を書こう』『墨流しを楽しもう』 講師/松本紅舟 講座2《落語》『落語を体験!扇子、手拭いの使い方など』



講師/立川談修

講座3《建築》『日本の伝統工法 竹小舞、土壁塗りを体験!』 講師/日高保



講座4 前半《ダンス》『文学を体現~雨ニモマケズ~』

後半《体幹を鍛える》『一本歯下駄を履きこなそう』



講師/OBA

講座5《絵画》『自分発見!心のままに描こう』 講師/森本美保子



講座6 前半《SDGs 入門》『ホリケンとSDGsを学ぼう!』ファシリテーター/古屋カ MC/堀内健 後半《お笑い》…『ホリケンにお笑いを学ぼう!』 講師/堀内健



Largo のコンセプトは不登校の子どもたちが「好き」を突き詰め、自ら学びを求めて生き生きと過ごせるよう、地域の大人が全力で応援していくというもの。

この夏開催した「エンカレ」は、このコンセプトでオープンなイベントとして開催。学校に行っても行かなくても、等しくカッコいい大人との出会いと生きた学びをきっかけに、「知るって楽しい!もっと学びたい!」という気持ちを持ってもらいたいという願いを込めて企画しました。

魅力的な講師のみなさんと、子どもたちとの化学反応は想像をはるかに超え、キラキラした子どもたちの表情は、関わった大人たちにこれからの活動につながる力を与え、まさに感動を分かち合った3日間となりました。地域での学びが世界に目を向けるきっかけとなり、憧れが夢となり日々を生きる力になる。

最終日の「みんなを笑わせたくてこの道に進んだ」というホリケンと子どもたちの笑顔溢れるあの熱気。これからの子どもたちの学びのかたちとして「エンカレ」は、あり！地域ぐるみの子育ての場『ふかふか』の、可能性がまた一つ広がりました。

## 2 自閉症として生きて31年 高比良かずえ♪

ピアノを始めて21年目の秀一。始めた頃はこんなにも長きにわたり続けるなんて思ってもみなかったと言うか、目の前のことにいっぱい気持ちに余裕が全く無く先のことを考えられなかったと言うのが私の気持ちでした。街の小さなレストランのミニコンサートでフルートの演奏に合わせてテーブルをピアノのように弾いていた10才の頃、これがピアノを習うきっかけになりました。

あれから21年の月日が流れたのですね。沢山の涙、迷い、落胆そしてもちろん喜びがありました。楽しそうに見えない彼の姿に続ける意味を見いだせなくて迷うこともありました。それは単に私自身の未熟さだったと今思えばわかることです。どんなときでも受け入れる心の余裕と信じて待ち続ける気持ちが必要です。

2010年にジャズに進んでからは自分の意思でピアノと向き合い小さな一歩を重ねています。文字にすればこれだけのことですが、1つの事を理解して習得するのに人よりも時間が必要で思うように進まない現実があります。日々一歩進んで何歩も下がるという風です。それでも最近は電車を乗り継ぎ、横浜の関内までレッスンに1人で通っています。他にも不定期ですがライブカフェなどでセッションに参加して演奏を楽しんでいます。またオリジナル作品も少しずつ増えています。最近できた曲「きっと繋がる」は歌詞を見て彼の成長を感じました。

いつからだろう 負けない心の奥に いつもいた  
信じてる存在の君が 戸惑いはいらぬ 繋がるために  
誰だってそうだろう 認める心が 安心をつくるよ  
どんな時も 繋がっているから 誰もがくじけないように  
生きていく言葉の意味を理解するのも表出するのも苦手なの




で、歌詞に込められた伝えたい想いを考えたとき歌詞の奥にある沢山の事を感じることができ、それらが頭を巡り涙が溢れてしまいました。

特例子会社(ファンケルスマイル)に勤めるようになって13年目になりますが、そちらでの様々な経験からくるものも大いに影響があると思います。今でもビックリさせられ、あたふたする日々がありますが私達にとっての適切な距離感を保ちながら「きっと繋がる」夢を考え進みたいと思うこの頃です。

※秋も深まるころジャズコンサート+α(書、カントリー&ロック)を開催予定です(滝田)

### 3 自分の居場所を開拓する力

龍崎 明信 

たとえば安全な場所から一步踏み出して、未知の領域に挑戦するとき、誰でも不安を覚えます。新しい環境に馴染めるだろうか？いきなり人間関係でつまづかないだろうか？未知の領域は予測できません。

でも過去なら分かります。過去の経験が自信となり、保証のない未知の領域に挑戦する力となります。結果、未知の領域が自分の領域になっていきます。そうやって少しずつ、新たな自分の居場所を開拓していくのです。

では経験の浅い若者にとっては、どうやって自分を信じる経験を積みばいいのでしょうか。私の活動はそこに焦点を当てています。



8月のある日、横須賀市の中学校によるロボコン大会が行われました。「創造アイデアロボットコンテスト」として年に一度開催され、今年で15回目になります。市内の各中学校がエントリーし、参加者は100名超えとなる大規模な大会です。私はこの大会を過去2回にわたり取材し、撮影した写真を小さな写真冊子にして参加校へ寄贈する活動を行ってきました。それは、この冊子が彼らの自信につながると思っているからです。

この冊子は「ブカツレット」と題して展開してきました。

「部活」を冊子(booklet)にするから「ブカツレット」。今

回、創造アイデアロボットコンテストとしては3回目のブカツレットとなります。回を重ねる中で、この試みは「彼らの舞台を華やかにすること」が目的である、と今まで以上に自分の考えも洗練されてきました。ロボコンが華やかになることで、「この舞台で活躍した」という自信につながってくれると思っています。「ロボコン」という教科はないかもしれませんが。教科がないので通知表に評価はつかないかもしれません。でもあれだけの創意工夫とエネルギーは、認められるべきものです。私の役目は彼らの舞台を華やかにすることで、彼らが自分の行いに自信を持ってくれるようにすることです。「この舞台で活躍した」という過去が自信となり、予測できない未来を切り開いていく力となる。彼ら若者が、自分の居場所を自ら切り開いていく開拓者となる日まで、この活動を続けるつもりです。※booklet第3集を近日発行予定、お待ちください(滝田)

**9月予定** ○1日(土)pm9時ETV:小林由紀さん&お嬢さん出演 ○2日(日)pm2:横須賀応援団会議・マジスティック・リトルエンジン in 横須賀サポセン ○16日(日)pm6:30TV東京:長谷川ひろみさんモヤサマ出演 ○23日(日)pm1時:逗子応援団会議・ひきこもり発信プロジェクト・ゆずりはの会 in 逗子交流市民センター 30日(日)pm2時:スマ講座「映像で語ろう」※関係者要申し込み in 産業交流プラザ ○Largo(鎌倉応援団会議 in ふかふか)8日(土)am10時~ 22日(土)am10時~ ○鎌倉市教育センター:4日(火)、7日(金)、11日(火)大船小、13日(木)深沢小、18日(火)、19日(水)富士塚小、21日(金)、25日(火)、28日(金) ○研究所相談:6日(木)、20日(木)、27日(木) 【発行編集:滝田衛】

住所:鎌倉市七里ガ浜東 2-31-12 携帯:09072124055 メール:[qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp](mailto:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp)

●研究所ホームページ:<http://shichirigaoka-lab.jimdo.com/>

●応援団フェイスブック:<https://www.facebook.com/kodomowakamono.ouendan/>